

単位認定インターンシップに行ってきました (File.12)

授業科目名:世界教養プログラム/就業体験

派遣先企業・機関名:株式会社IHI (旧 石川島播磨重工業)

配属部署:カーボンソリューションSBU 海外営業グループ

研修期間:2021年9月6日~2021年9月17日 (10日間/オンライン)

国際社会学部 国際社会学科 中東地域/アラビア語専攻 2年 赤塚 大輝



* 株式会社 I H I とは

1853年創設の日本初の近代的造船所「石川島造船所」を起源とし、1960年に播磨造船所と合併して「石川島播磨重工業」となった後、2007年に社名を「IHI」に変更した総合重工業グループです。

「技術をもって社会の発展に貢献する」という経営理念のもと、資源・エネルギー、社会インフラ、産業機械、航空・宇宙の4つの事業分野を中心に、新たな価値を提供しています。

<https://www.ihico.jp/>

■ 参加した理由

人生の大半を使う「仕事」というものがどのようなものなのか。またそれをするにはどのようなことができるようになるか。またそれをするにはどのようなことができるようになるか。またそれをするにはどのようなことができるようになるか。またそれをするにはどのようなことができるようになるか。

また、2年生の今探ることで、自分に足りないと感じたスキルを補うための時間があることも利点だと感じました。そのほかにも大学で学んでいる言語は実際に社会で使われている/活用できるのかを確かめるといった目的もありました。

インターンシップで何を達成しようとしたか

現在の自分が何をどのくらいできるのか、また何をできるようにならないといけないかを知ること。

自分が大学で学んでいることがどのように社会で使われているのか具体的に知ること、またそれを役立ててみる事。

■ インターンシップの内容

アラビア語と英語で書かれた契約書の翻訳確認作業をしました。クウェートの企業との取引に用いられた契約書(アラビア語と英語表記)を読み、英語の翻訳とアラビア語の翻訳が本当に正しいかの正誤を確認する作業です。おおむね正しい内容であったが、英語の文が読み解きづらかったり、所々ミスがあったりという大学では学べないことを学び、生の専攻語にふれることができたと思います。ほかにもカーボンソリューションの市場調査を行い、各国のCO2排出削減の具体的な数値やそれに向けた方針を調べました。また先輩社員座談会を設定していただき、様々な部署の方からお話を伺いどのような仕事をしているのか、そのやりがいは何なのか等のお話を聞くことができました。

取り組んだ内容

- ・ 翻訳確認作業: 英語とアラビア語で書いてある契約書の翻訳が正しいかの確認
- ・ カーボンソリューションの市場調査: 各国がCO2規制とその代替エネルギーをどのように考えているか
- ・ 先輩社員座談会: エネルギー領域の内/外で働いている社員の方々に話を伺った。



■記憶に残るエピソード

先輩社員座談会にて様々な人の人生や職業観を聞いたことが、一番私の記憶に残っています。人事部の方に伺ったお話で「99%の仕事は地味だよ。

でも1%の華々しさとか、キラキラがあるから皆仕事を頑張れるんだ」というのは、すごく印象に残りました。



■自分の気づき、学んだこと、これからどう活かす

「仕事」というものは華々しいものばかりではなく、むしろその逆で99%は地味なものであり、1%の華々しさがあるという、ある種の職業観を学び、それを体験することができたと思います。地味な仕事というのは「できて当たり前前仕事」であり、社会人とはできて当たり前前仕事のことをしっかりできる人のことを指すという、自分なりの社会人像を得ることができました。

また、何億、何十億円の案件をチームで動かしている様子を見学、さらにはその一端をまかせていただき、メーカー企業の面白さを感じることができました。今後の学生生活では、以下のことに取り組んでいきます。

1. プレゼン能力やリサーチ能力の改善
2. アラビア語をさらに勉強する
3. いろいろな業界をみる



■学生への呼びかけ(インターンシップのすすめ)

大学生にはいろいろな方がいると思います。「この仕事に就きたい」という具体的なビジョンがある人もいれば、あまりそういうものを持っていない人もいるでしょう。前者の方は、実際に理想の仕事に就ければ万々歳です。しかし、それをやったこともないのに、それが本当に自分のやりたいことだってどうして言い切れるのでしょうか？自分が興味があるから？それともそこで働いている自分が想像できるから？おそらくそれは大学の授業と同じで、「この授業面白そうだったけど実際とってみるとつまらないな」と同じものだと私は思うのです。であれば、どうすればよいのか。そう。実際にやってみるしかないのです。それをできるのがこのインターンシップであり(ついでに単位もついてきます)、その仕事を楽しかったものとしても、楽しくなかったとしてもそれは学びとして得ることができるのです。人生の長い期間を費やす「仕事」、どうせなら楽しいものを選びたいですね。であれば、まず自分から動いてみるのが大事なことだと私は思うのです。



■感謝のことは

今回のインターンシップに参加させていただいて、「仕事」という枠にとらわれず、様々な学びや気づきを得ることができました。今回の体験は、就活の際にはもちろん、この先の人生の役にも立つと確信をもつ事ができます。末筆にはなりましたが、今回のインターンシップを企画していただいたGCC、受け入れ機関のIHIの皆さまに感謝を申し上げます。

